2026年10月8日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
10,310万kW
16時、103,105 MW（10エリア同時刻合計）

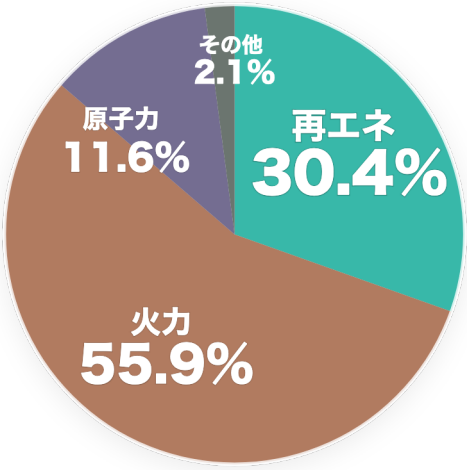
☀ 太陽光ピーク
5,375万kW
11時、53,751 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
178万kW
2時、1,779 MW

◇ 再エネ最大需要比
62.9%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
中部
73.9 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
68.3 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 48.7%

38.1 GWh

出力抑制量

17.6 GWh

最大: 東北 10.9 GWh

揚水・蓄電の充電

48.5 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、15:30に3,332万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで48.7%でした。
- 出力抑制は北海道、東北、中国、四国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**30.4%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**656 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,153 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**62.9%**	12時
出力抑制量	**17.6 GWh**	最大: 東北
揚水・蓄電の充電	**48.5 GWh**	発電構成比には含めない

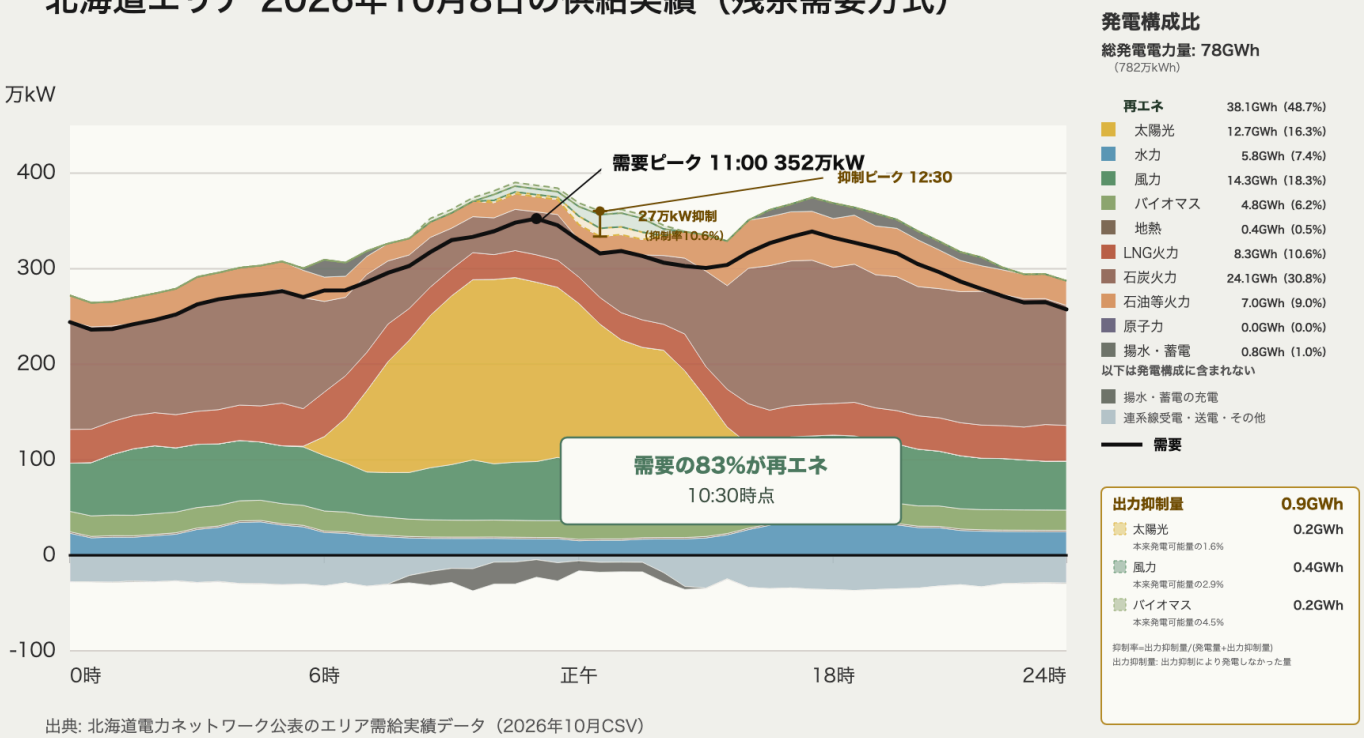
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**48.7%**	**38.1**	**0.9**	**送電 6.1**
東北	**39.2%**	**103**	**10.9**	**送電 68.3**
東京	**23.3%**	**143**	**0.0**	**受電 73.7**
中部	**38.8%**	**107**	**0.0**	**受電 73.9**
北陸	**29.7%**	**22.8**	**0.0**	**送電 10.0**
関西	**24.5%**	**76.2**	**0.0**	**受電 30.1**
中国	**25.8%**	**46.3**	**1.9**	**送電 27.7**
四国	**31.3%**	**29.1**	**0.9**	**送電 30.7**
九州	**36.5%**	**86.7**	**3.1**	**送電 15.7**
沖縄	**12.5%**	**3.0**	**0.0**	—

2026年10月8日の供給実績

北海道エリア

再エネ
38.1GWh
（発電電力量ベース48.7%）

北海道エリア 2026年10月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
78.2GWh

需要ピーク
11:00、352万kW

連系線・その他
6.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.0GWh

出力抑制
0.9GWh

概況

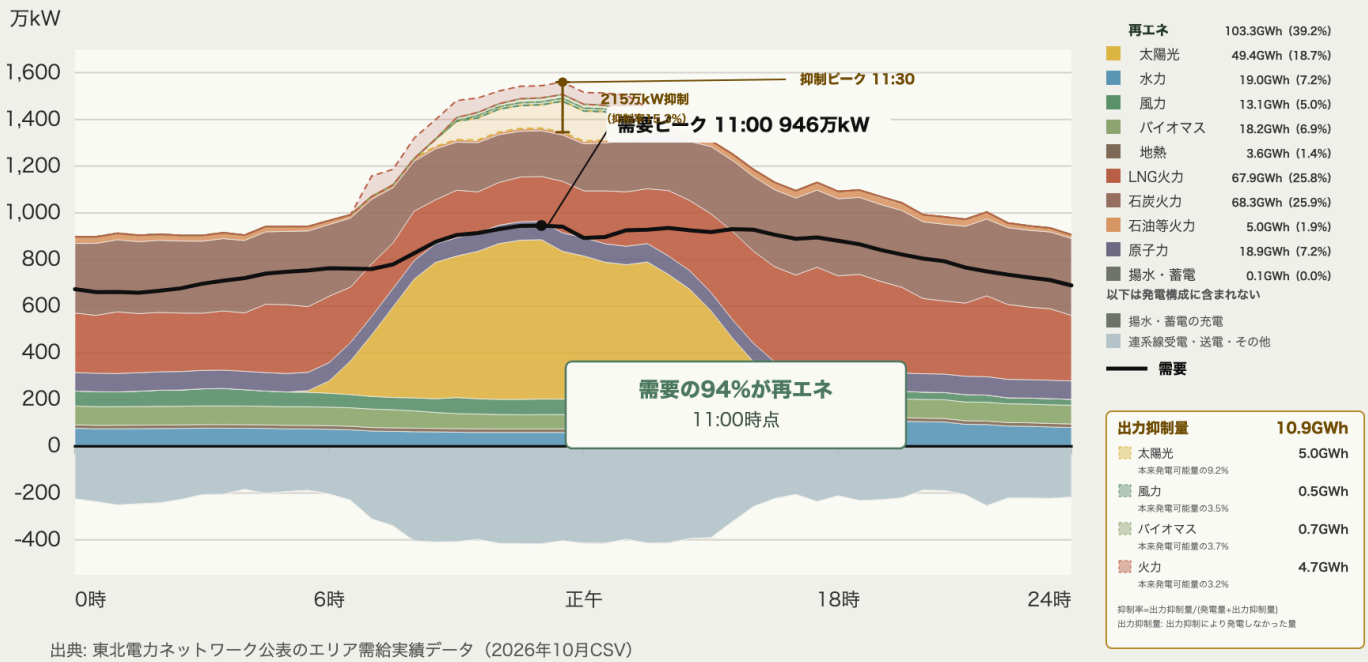
北海道は、太陽光ピーク193万kW、風力ピーク74万kWで、時間別の再エネ最大需要比は86.6%だった。

2026年10月8日の供給実績

東北エリア

再エネ
103.3GWh
（発電電力量ベース39.2%）

東北エリア 2026年10月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
263.6GWh

需要ピーク
11:00、946万kW

連系線・その他
68.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.1GWh

出力抑制
10.9GWh

概況

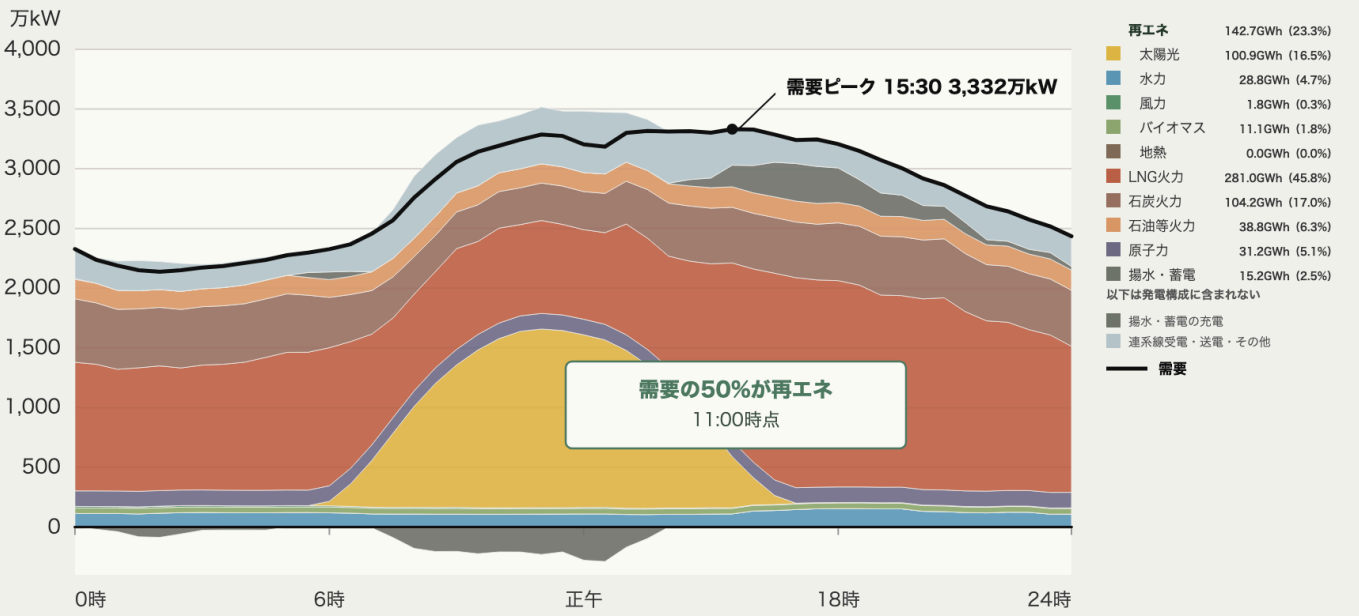
東北は、太陽光ピーク682万kW、風力ピーク75万kWで、時間別の再エネ最大需要比は93.6%だった。

2026年10月8日の供給実績

東京エリア

再エネ
142.7GWh
（発電電力量ベース23.3%）

東京エリア 2026年10月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
613.1GWh

需要ピーク
15:30、3,332万kW

連系線・その他
73.7GWhの受電

揚水・蓄電の充電
14.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

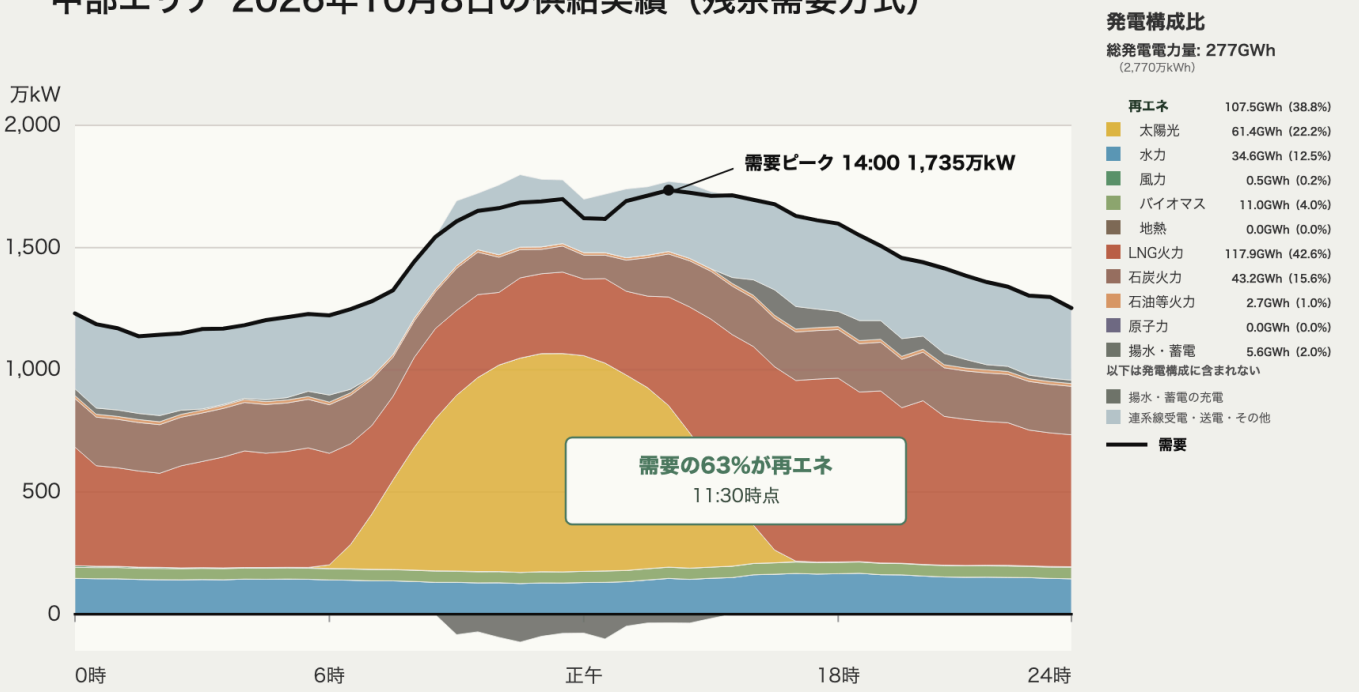
東京は、太陽光ピーク1,497万kW、風力ピーク14万kWで、時間別の再エネ最大需要比は50.5%だった。

2026年10月8日の供給実績

中部エリア

再エネ
107.5GWh
（発電電力量ベース38.8%）

中部エリア 2026年10月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
277.0GWh

需要ピーク
14:00、1,735万kW

連系線・その他
73.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
4.4GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

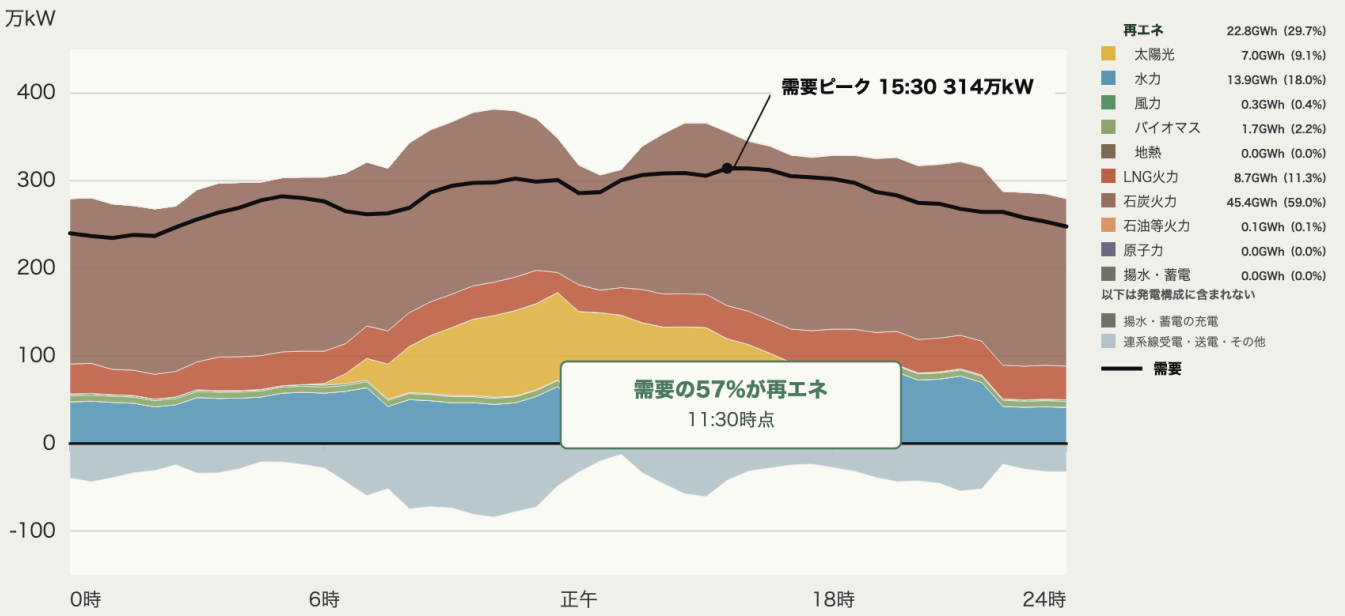
中部は、太陽光ピーク893万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は65.3%だった。

2026年10月8日の供給実績

北陸エリア

再エネ
22.9GWh
（発電電力量ベース29.7%）

北陸エリア 2026年10月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
77.0GWh

需要ピーク
15:30、314万kW

連系線・その他
10.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

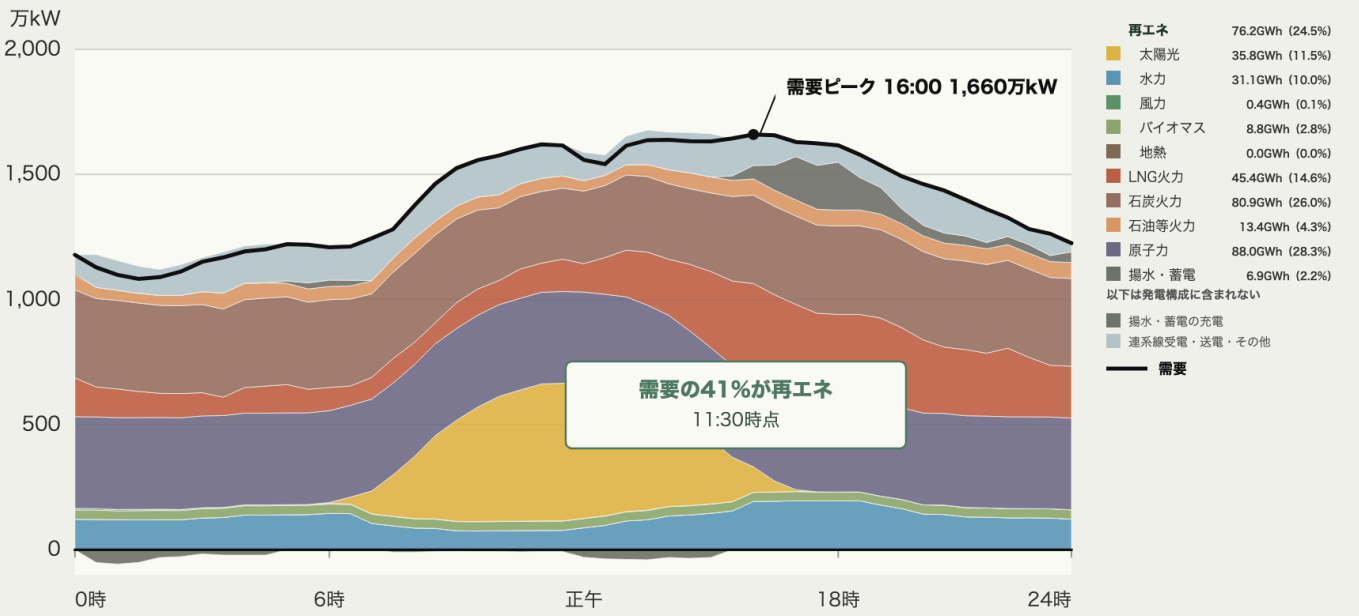
北陸は、太陽光ピーク100万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は57.3%だった。

2026年10月8日の供給実績

関西エリア

再エネ
76.2GWh
（発電電力量ベース24.5%）

関西エリア 2026年10月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
310.8GWh

需要ピーク
16:00、1,660万kW

連系線・その他
30.1GWhの受電

揚水・蓄電の充電
3.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

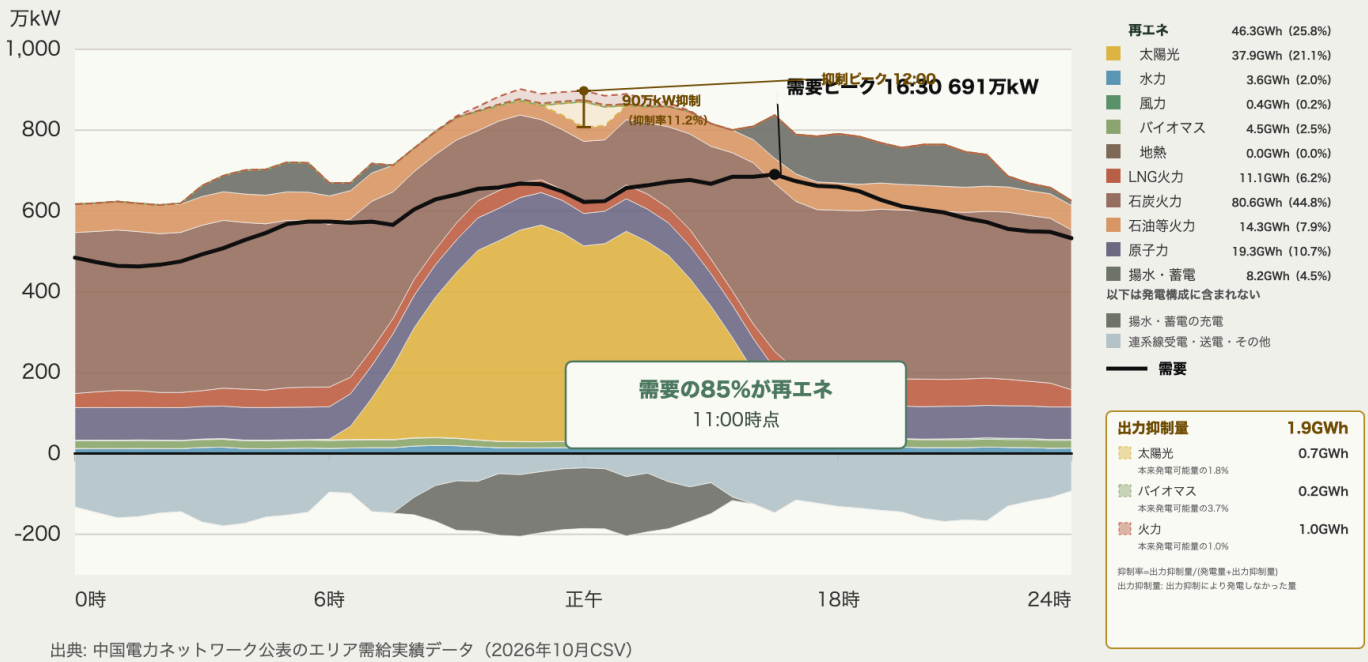
関西は、太陽光ピーク550万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は42.6%だった。

2026年10月8日の供給実績

中国エリア

再エネ
46.4GWh
（発電電力量ベース25.8%）

中国エリア 2026年10月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
179.8GWh

需要ピーク
16:30、691万kW

連系線・その他
27.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
9.3GWh

出力抑制
1.9GWh

概況

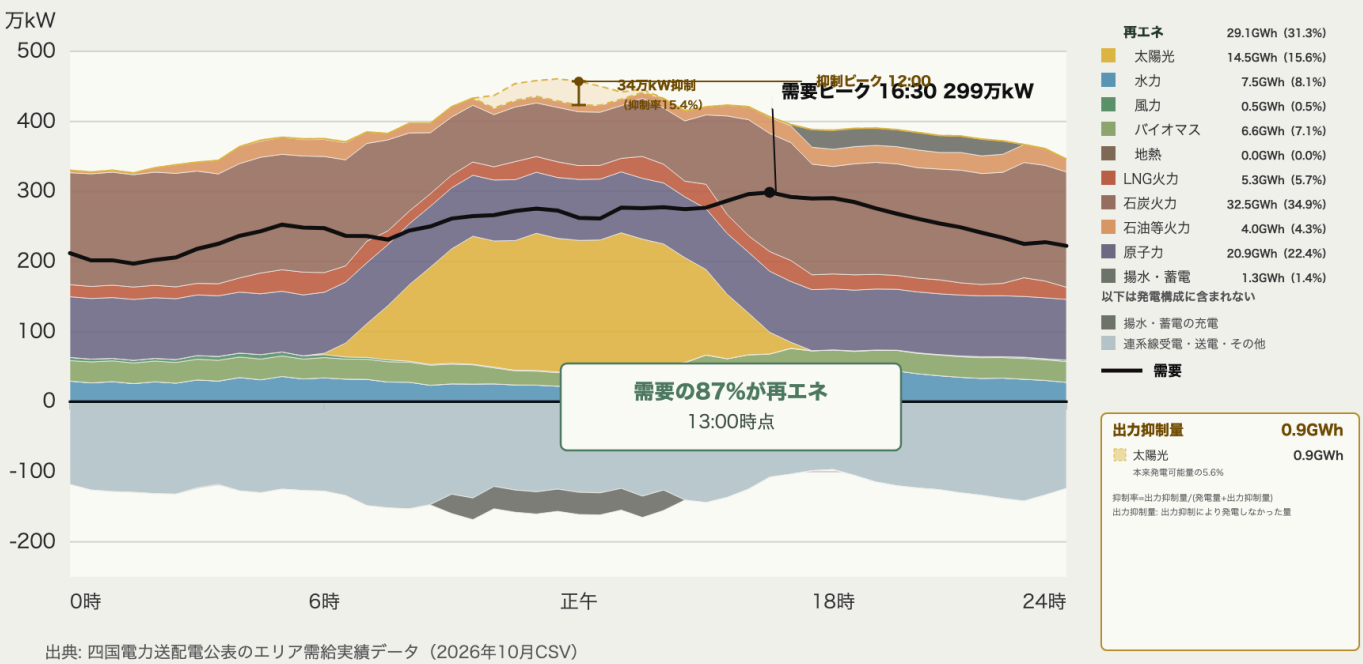
中国は、太陽光ピーク536万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は84.9%だった。

2026年10月8日の供給実績

四国エリア

再エネ
29.1GWh
（発電電力量ベース31.3%）

四国エリア 2026年10月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
92.9GWh

需要ピーク
16:30、299万kW

連系線・その他
30.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.7GWh

出力抑制
0.9GWh

概況

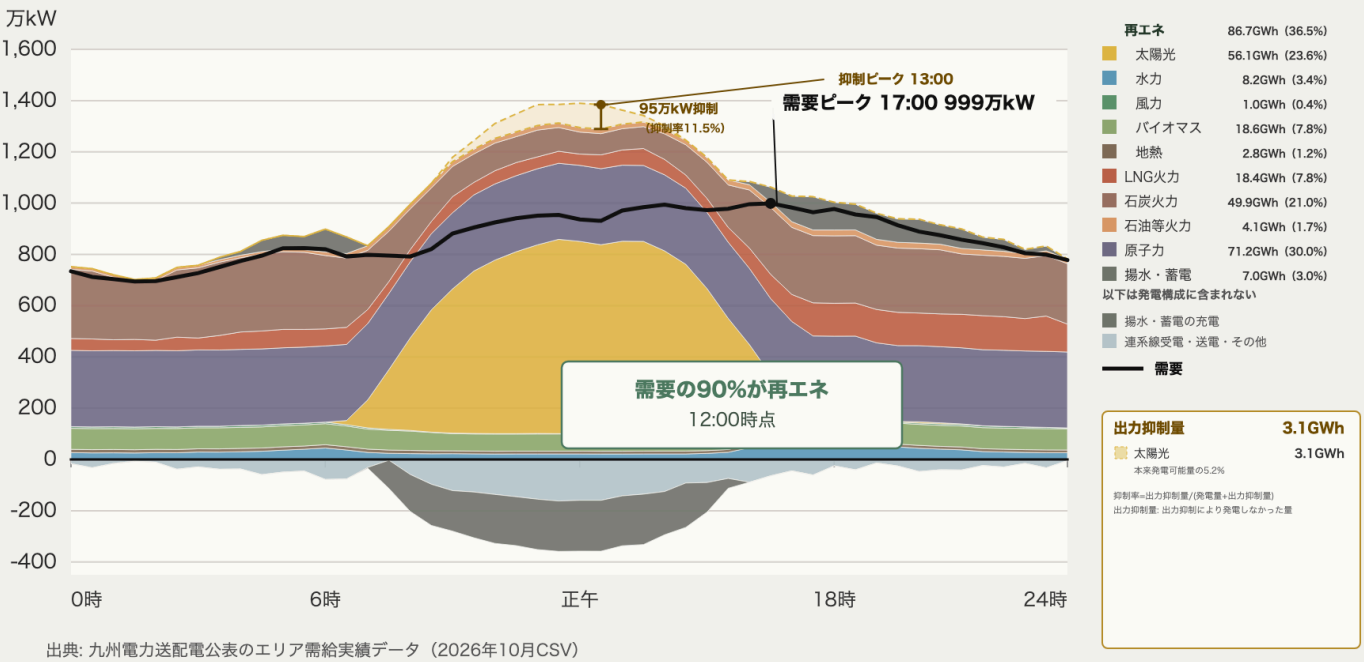
四国は、太陽光ピーク198万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は89.2%だった。

2026年10月8日の供給実績

九州エリア

再エネ
86.7GWh
（発電電力量ベース36.5%）

九州エリア 2026年10月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
237.3GWh

需要ピーク
17:00、999万kW

連系線・その他
15.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
14.1GWh

出力抑制
3.1GWh

概況

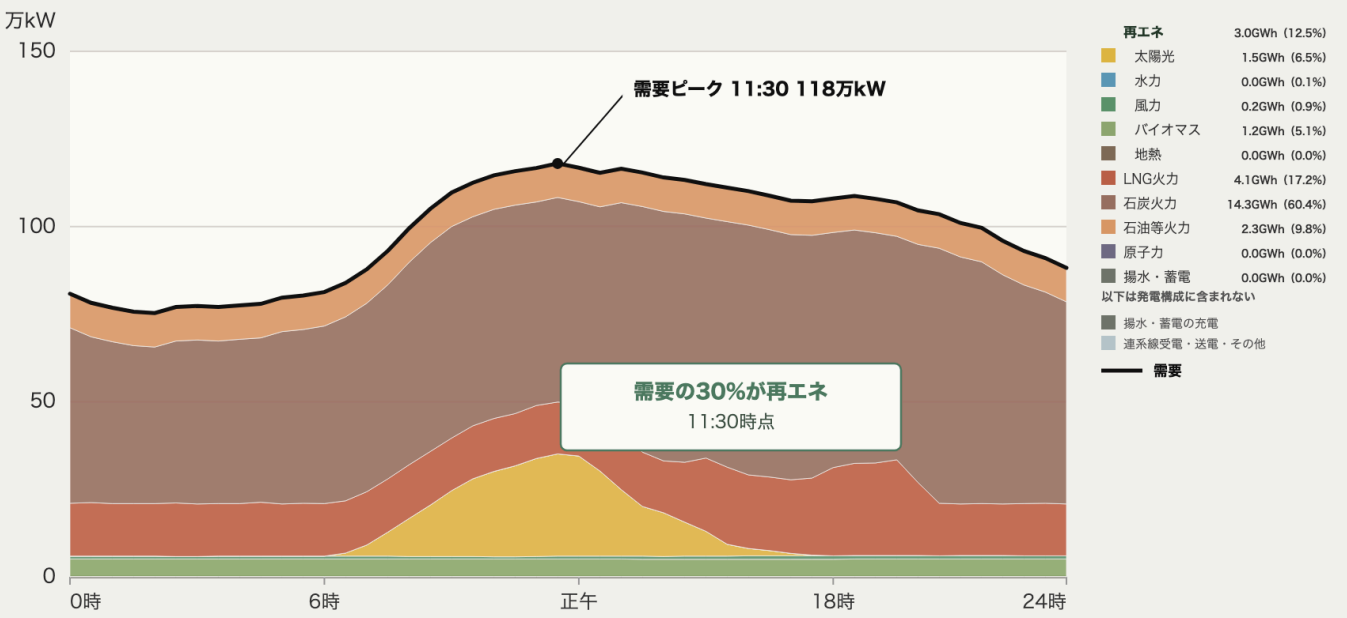
九州は、太陽光ピーク758万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は90.9%だった。

2026年10月8日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
3.0GWh
（発電電力量ベース12.5%）

沖縄エリア 2026年10月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
23.6GWh

需要ピーク
11:30、118万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク29万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は29.7%だった。